
都市住民の国土管理活動への参加状況

国土交通省 国土計画局

＜国土の国民的経営に関するアンケート調査の概要＞

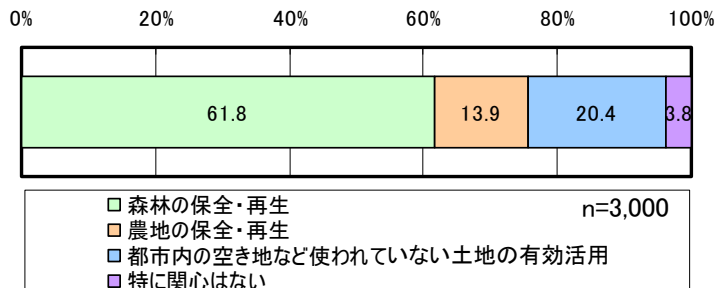
- 調査主旨:国土の国民的経営の推進に当たり、都市住民の国土管理に資する活動への参加意向を把握し、今後の施策展開に活用する
- 調査方法:インターネットアンケート
- 調査対象
 - ・居住地:人口30万人以上の都市(一部30万人以下の県庁所在地等を含む)及び東京23区
 - ・職業:農林漁業(兼業含む)に従事していない者
 - ・対象者:20歳以上で、インターネット調査会社に登録しているモニター3,000人
- 調査時期:平成19年3月
- アンケート結果の掲載先:「国土の国民的経営の推進に係る基礎調査報告書」(平成19年3月)(国土交通省国土計画局)

＜主な調査結果＞

- 都市住民の土地利用をめぐる問題への関心について、「森林の保全・再生」では6割、「都市内の空き地等の有効活用」では2割、「農地の保全・再生」では1割強が関心を示すなど、大部分の人が関心を持っている
- これまで、農作業体験や植林のボランティア等の直接的活動へ3割が参加。活動内容は、農作業体験や市民農園での活動が多い
- これまで、農作物の購入や寄付等の間接的活動については6割が参加。活動内容は、農作物の直販購入、間伐材を利用した製品の購入など
- 森林や農地の保全・再生活動について、5割を超える者が今後参加したいしたいと回答
- 子ども期の農作業体験や森林経験がある人は、ない人に比べ、直接的活動へ参加する傾向が高い
- 今後の参加意向から、国土管理に関わりたいと考えている者は数千万人の規模になるものと推計される

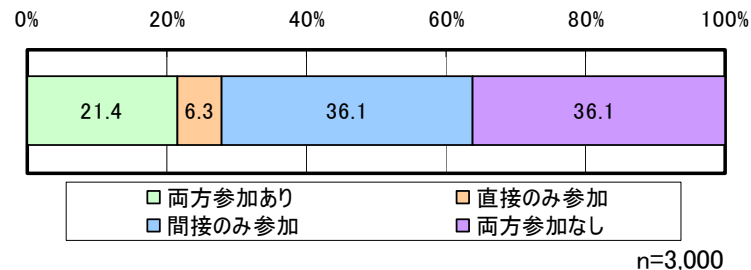
1 都市住民と国土の管理

○ 森林、農地、都市の土地利用をめぐる問題への関心



「森林の保全・再生」が6割と最も多く、「都市内の空き地等の有効活用」が2割、「農地の保全・再生」が1割強となっており、大部分の人が関心を持っている。

○ 森林、農地などの保全・再生に関わる活動への参加経験



農作業体験や植林のボランティア等の直接的活動に3割、農作物の購入や寄付等の間接的活動に6割が参加

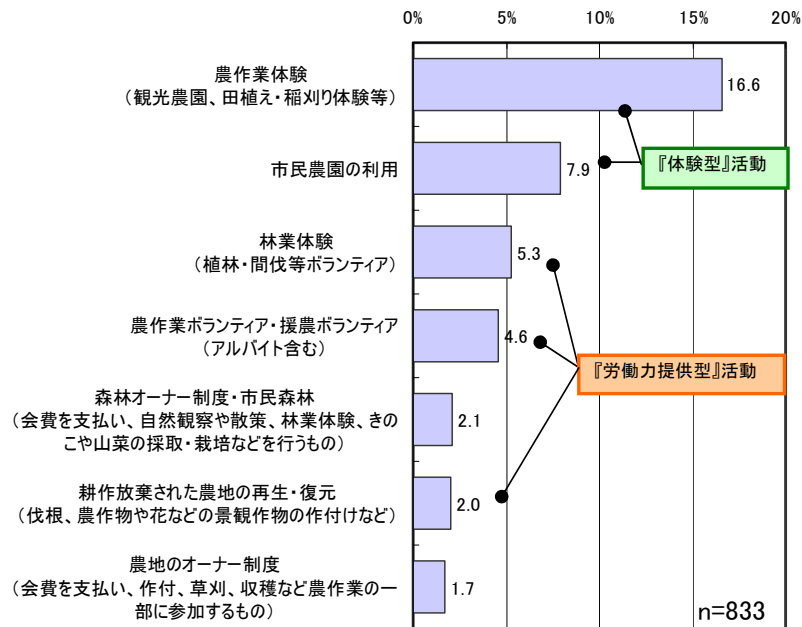
＜森林・農地などの保全・再生に関わる直接的活動・間接的活動の活動例＞
(アンケート項目選択肢)

直接	・ 林業体験（植林・間伐等ボランティア） ・ 農作業体験（観光農園、田植え・稲刈り体験等） ・ 農作業ボランティア・援農ボランティア（アルバイト含む） ・ 市民農園の利用 ・ 森林オーナー制度・市民森林 ・ 農地のオーナー制度・耕作放棄された農地の再生・復元
間接	・ 植林活動など森林保全への募金や寄付（店頭、行政機関など） ・ 安全な作物の栽培など農地保全への募金や寄付 ・ 国産材を利用した製品等の購入（家の新築、家具購入など） ・ 間伐材を利用した製品の購入（家具、日用品、雑貨など） ・ 農作物の直販購入（道の駅、直売所などでの購入） ・ ふるさと宅配便やオーナー制度による農作物等の購入 ・ 分収育林制度 ・ 農地トラスト（農産物の契約購入を通じた農地保全）

1 都市住民と国土の管理

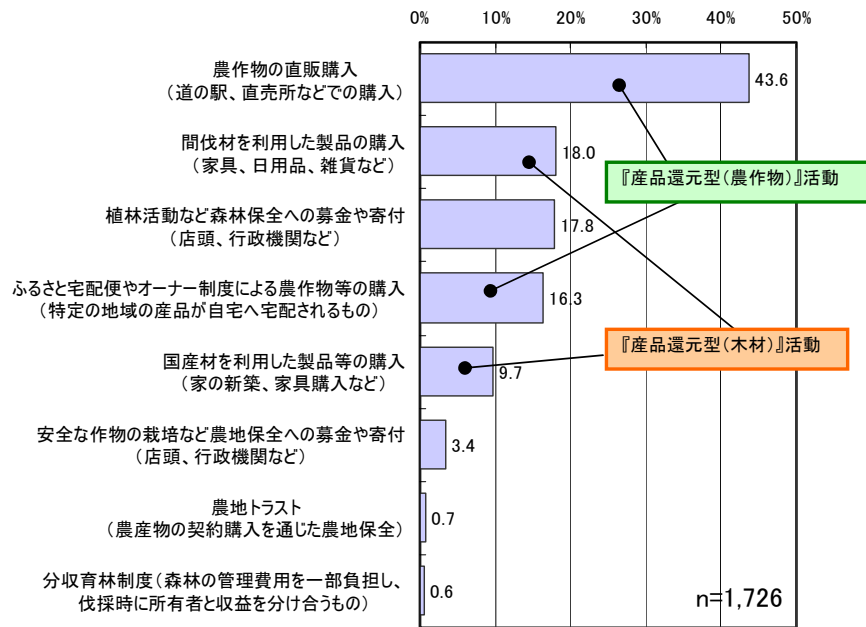
○ 森林、農地などの保全・再生に関わる直接的活動の内容

農作業体験、市民農園といった農地保全にかかる体験型の活動が多い。次いで、林業体験や農作業・援農ボランティアなど労働力提供型の活動となっている。



○ 森林、農地などの保全・再生に関わる間接的活動の内容

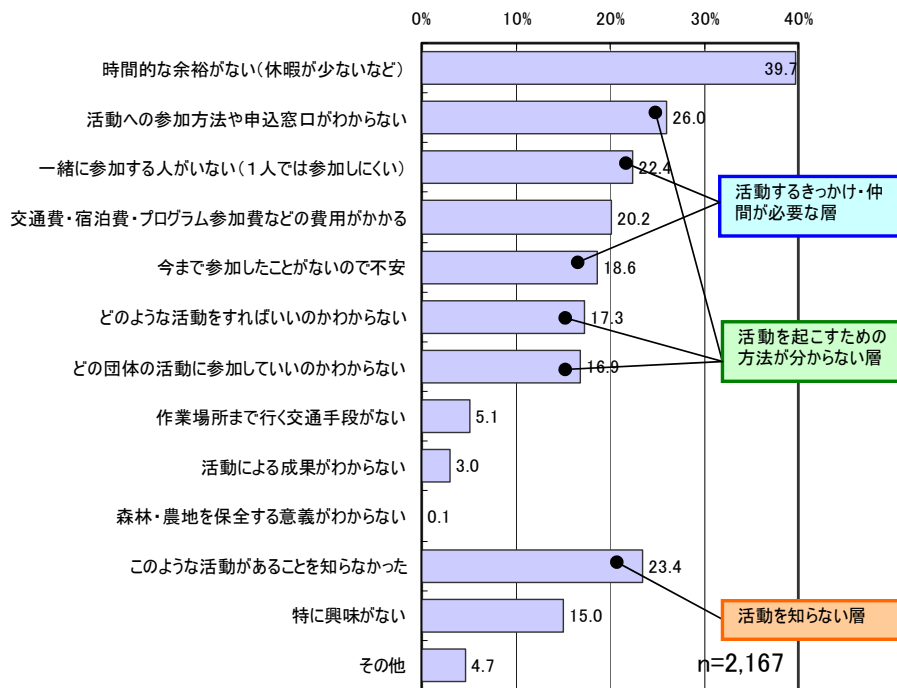
農作物の直販購入、間伐材を利用した製品購入など、農作物や商品が手元に残る、あるいは商品に還元されるものへの参加が多い。



1 都市住民と国土の管理

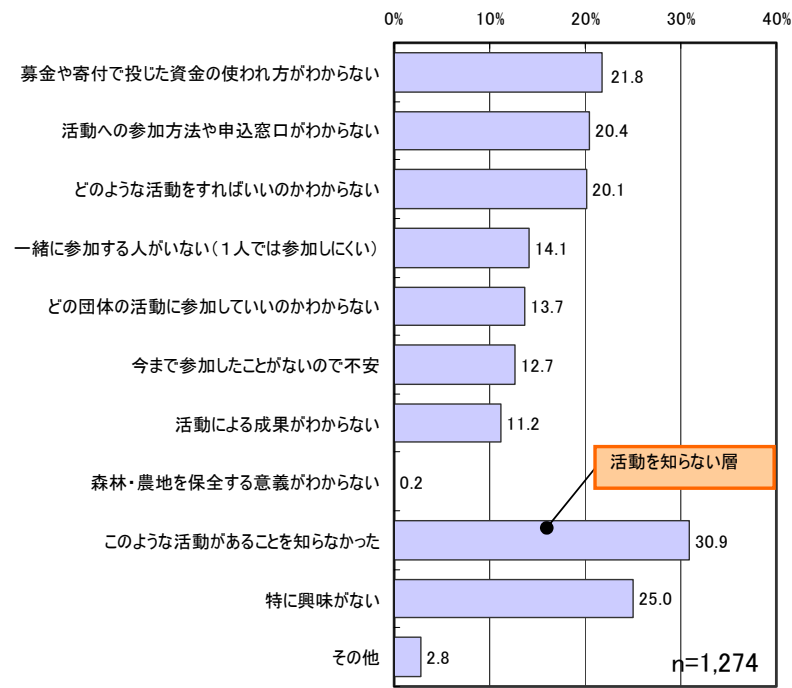
○ 直接的活動に参加しない理由

「時間がない」が4割と最も多い。また、活動内容や受け入れ団体、窓口等が分からない層が3割弱、1人での参加や最初の参加に抵抗感がある層が2割強。さらに、活動を知らない層も2割強。



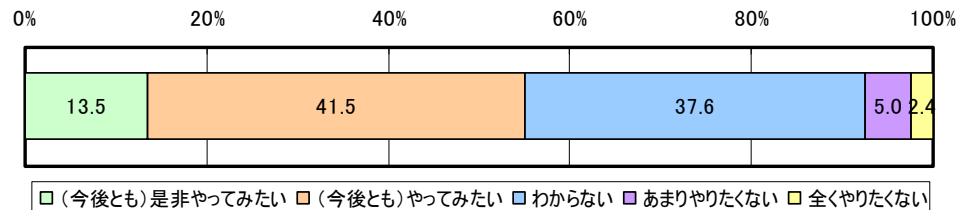
○ 間接的活動に参加しない理由

「活動を知らない」が3割と最も多い。また、「興味がない」が3割弱と、直接的活動よりも多い。

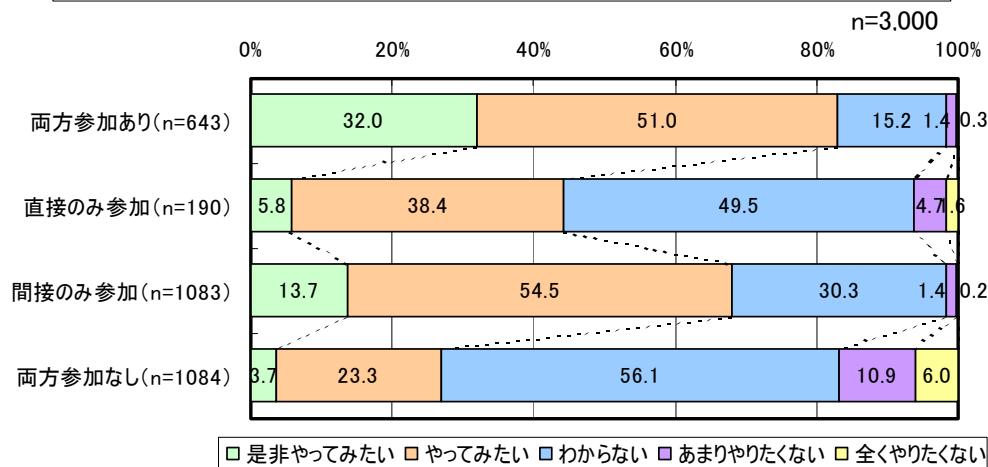


1 都市住民と国土の管理

○ 森林、農地などの保全・再生に関わる活動への今後の参加意向



「是非やってみたい」が1割強、「やってみたい」が4割強と、半数以上が参加意欲を持っている。一方、「あまりやりたくない」「全くやりたくない」と参加意欲が低い人は1割未満にとどまる。



直接・間接両方、間接のみの参加経験者のリピート参加意向は高い。一方、直接のみの参加者のリピート参加意向はやや低い。

	参加したい活動	活動への参加の諸条件
直接	市民農園、農作業体験：約3割、 森林オーナー制：2割強	■移動時間：市民農園は「30分未満」、他は「1時間未満」 ■活動回数：市民農園は約15回/年、耕作放棄地対策5回/年
間接	農作物の直販購入が約6割 宅配やオーナー制による農作物 購入・間伐材購入が約3割	■対象地域：直販購入、農地保全への寄付は「都道府県内」「居住市町村内」が多い。宅配購入やオーナー制は「全国」が多い ■費用負担：3,000円（森林への寄付）～80,000円（国産材購入）と幅広い。10,000～25,000円の層が最多。

今後参加したい直接的活動では、市民農園が3割強、森林オーナー制度が2割強。

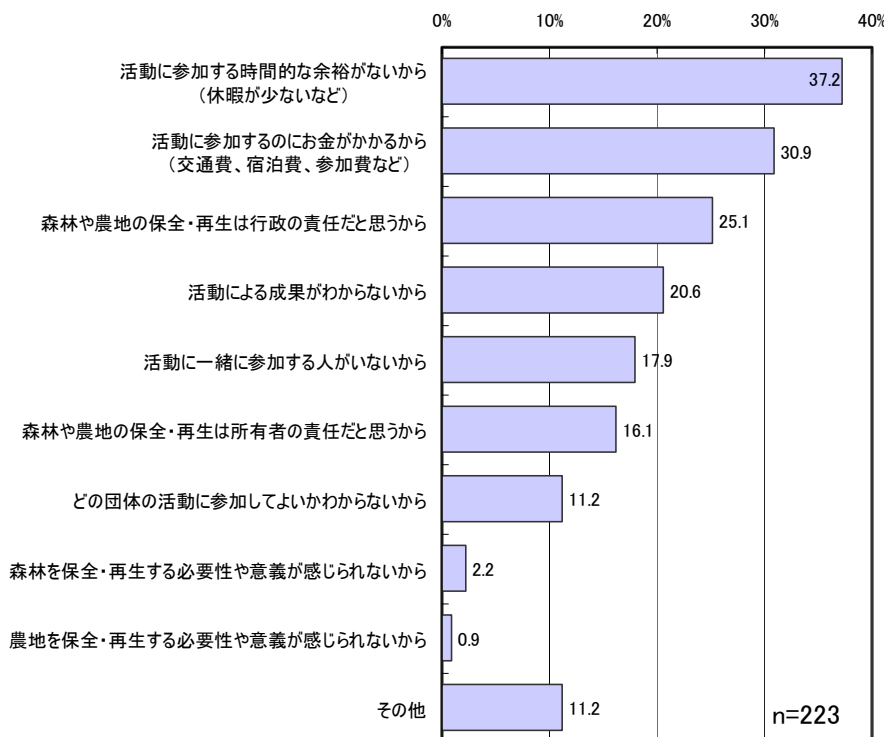
1 都市住民と国土の管理

○ 参加したいと思わない理由・参加できない理由

今後、活動に参加したくない理由は、「時間がない」が4割弱、「費用がかかる」が3割と多く、全体の1/4が「保全・再生は行政責任」としている。

国土管理の参加意欲が高い層ほど、現在直接的に活動に参加できない理由として、複数の具体的要因をあげる傾向がみられる。

参加意欲が低い層では、「興味がない」が大部分。



＜現在直接的活動に参加していない人における
今後の参加意向別にみた現在参加していない理由(複数回答・n=2,167)＞

今後の参加意向	現在直接的活動に参加していない理由上位3つ		
	1位	2位	3位
是非やってみたい (n=188)	参加方法、申込窓口 がわからない (50.0%)	時間的な余裕がない (44.1%)	一緒に参加する 人がいない (25.0%)
やってみたい (n=843)	時間的な余裕がない (44.6%)	参加方法、申込窓口 がわからない (33.1%)	一緒に参加する 人がいない (24.4%)
わからない (n=936)	時間的な余裕がない (38.7%)	このような活動を 知らなかった (26.8%)	一緒に参加する 人がいない (23.0%)
あまりやりたくない (n=133)	特に興味がない (52.6%)	時間的な余裕がない (25.6%)	このような活動を 知らなかった (18.8%)
全くやりたくない (n=67)	特に興味がない (91.0%)	費用がかかる (10.4%)	このような活動を 知らなかった (6.0%)

1 都市住民と国土の管理

○ 今後、活動に参加していくために必要な取り組み

参加意欲が高い人に対しては情報面の改善や窓口の整備など個別の阻害要因を解消して行くことが必要。

参加意欲の低い人に対しては、森林や農地の問題を認識し、保全・再生活動の必要性を認知してもらうための教育や普及啓発活動など、意識の面から改善していくことが必要。

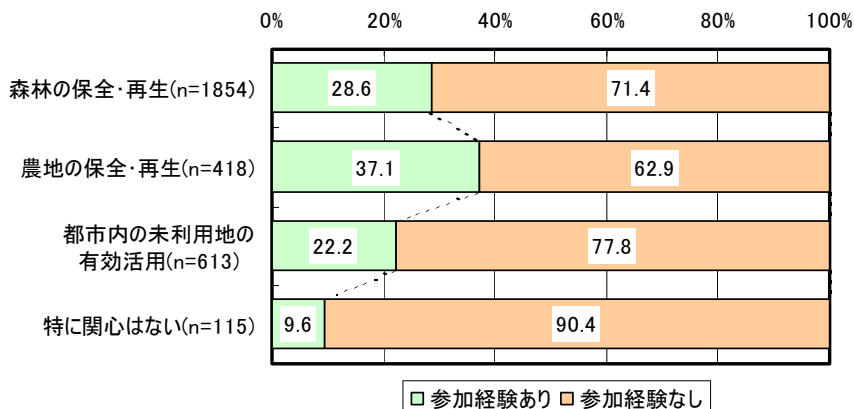
	参加意欲のある人	参加意欲のない人
直接的活動の促進策	■費用面:参加費用の低減、宿泊費の低減 ■情報面:行政の広報誌やHPでの情報提供 - 活動団体のチラシやインターネット ■窓口:参加手続きの簡素化 ■活動内容:参加の報酬提供	■意識面:森林の保全・再生の必要性の認知 - 農地の保全・再生の必要性の認知 ■費用面:宿泊費の低減 - 参加費用の低減 ■活動内容:活動の社会的評価の向上
間接的活動の促進策	■情報面:行政の広報誌やHPでの情報提供 - 活動団体のチラシやインターネット ■窓口:募金箱や寄付窓口の増加、 ■活動内容:使途のフィードバック	

n=3,000

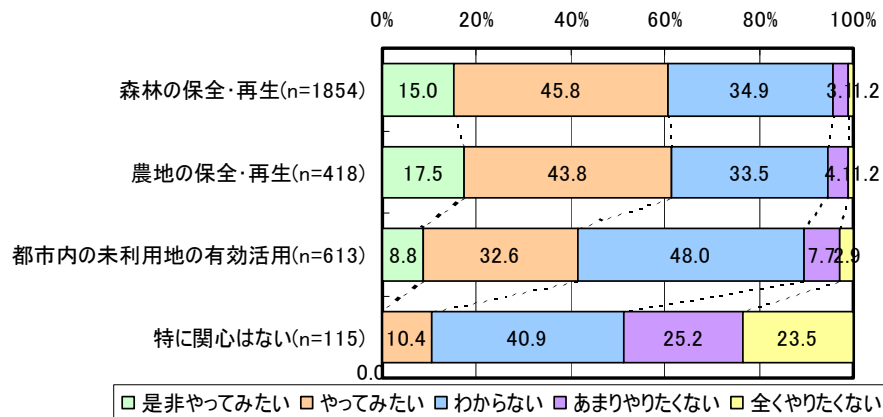
1 都市住民と国土管理(参加者意識・経験別にみた特性)

○ 参加者の問題意識と行動の相関

土地利用の問題への関心が高い人ほど、直接的活動への参加割合が高く、今後の参加意向も高い傾向にある。



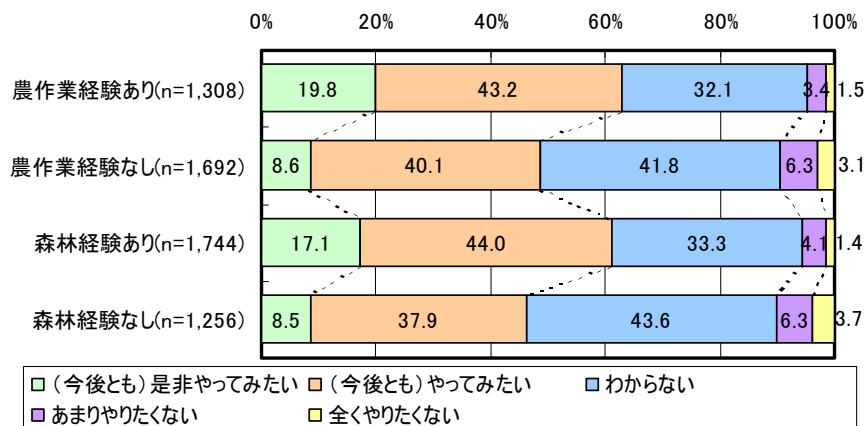
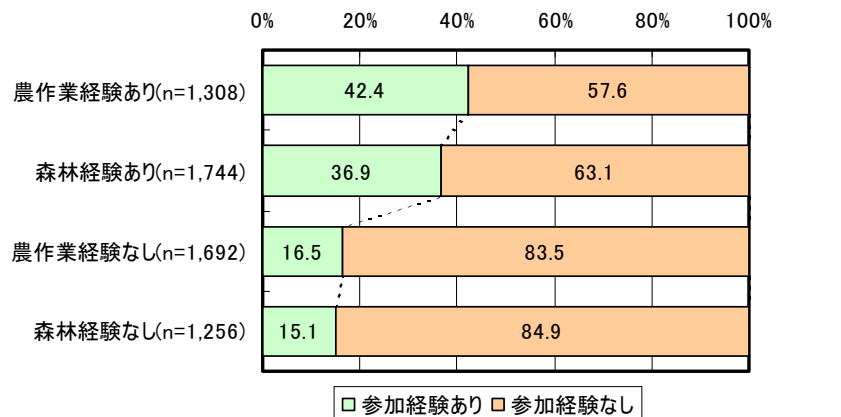
○ 参加者の問題意識と今後の参加意向の相関



1 都市住民と国土管理(参加者意識・経験別にみた特性)

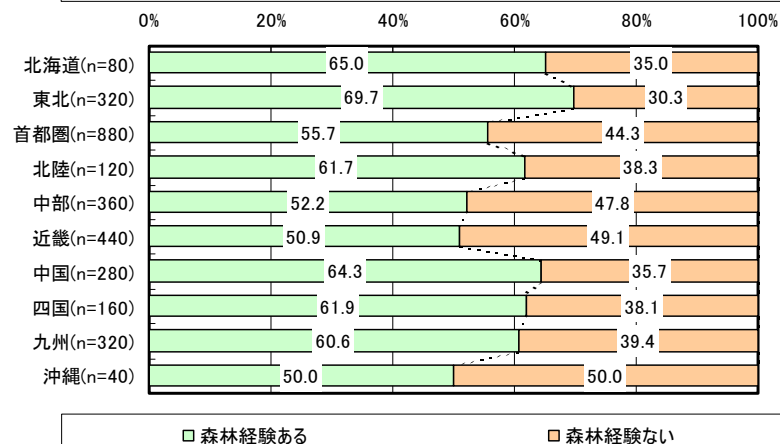
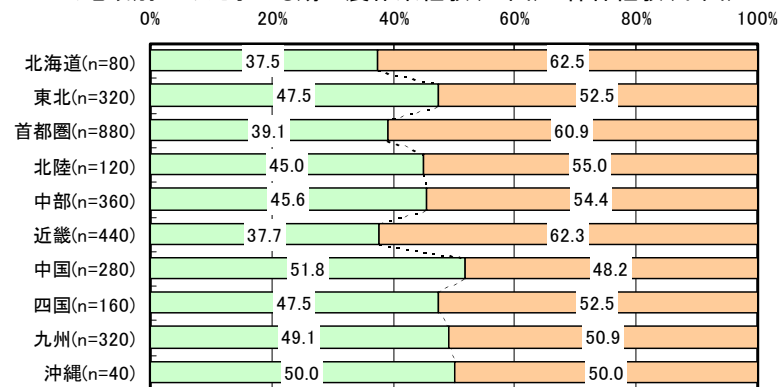
○ 子ども期の体験と行動及び今後の参加意向との相関

子ども期の農作業・森林経験のある人は、経験のない人に比べて、直接的活動への参加割合が3倍以上と高く、今後の参加意向も高い人が多い。



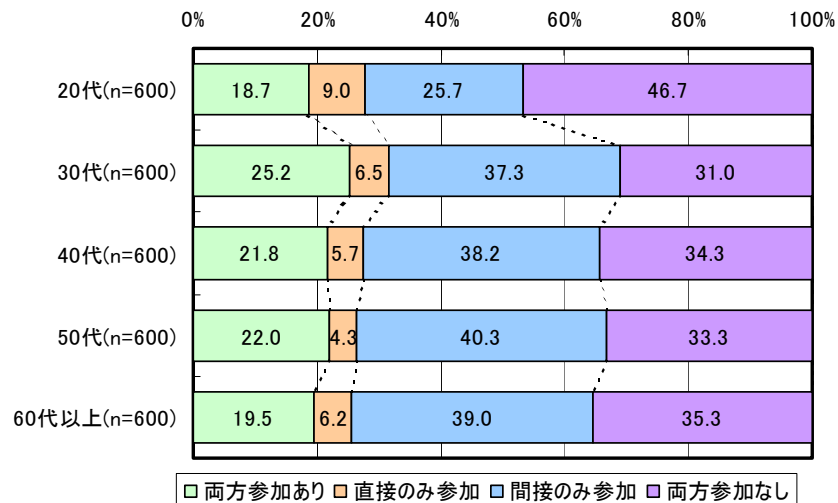
東北地方、中国地方でやや体験率が高く、首都圏や近畿地方などの都市部では体験率が低い。その差は、農作業体験で約7ポイント、森林経験で約15ポイントである。

＜地域別にみた子ども期の農作業経験(上図)と森林経験(下図)＞



1 都市住民と国土管理(ターゲット別の特性)

○ 年代別・性別特性(参加経験)



20代は「両方参加なし」が約半数。

一方、最も参加経験が多いのは30代で「両方参加あり」が約4分の1。

40～60代は「両方参加あり」が約2割、「直接のみ参加」が5%前後、「間接のみ参加」が約4割。

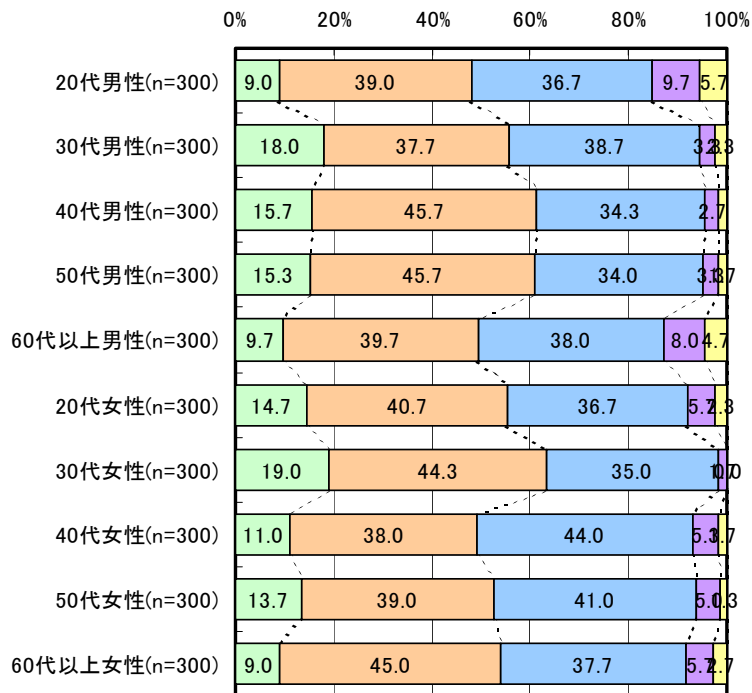
20代は学校や職場の取組をきっかけに参加するケースが多くやや受動的、30～50代は子どもの体験や自然とのふれあいを重視して参加に積極的。60代は市民農園やオーナー制などに取り組む人がある一方で、参加方法が分からず参加していない人も多く、やや二極化の傾向。

年代	直接的活動				間接的活動		活動に参加しない理由
	参加活動	同行者	参加目的	参加きっかけ	参加活動	参加きっかけ	
20代	農作業体験	友人や職場の同僚	教育・勉強の一環	組織の取組の一環	農作物の直販、森林や農地への募金・寄付	特に理由なし	興味がない
30代	農作業体験	友人や職場の同僚、家族	教育・勉強の一環・自然とのふれあい	家族の誘い	農作物の直販、森林や農地への募金・寄付	特に理由なし	時間的余裕がない、活動経費がかかる、活動を知らない
40代	農作業体験	家族	子どもの作業・生活体験	家族の誘い・友人の誘い・活動団体のチラシやネット	農作物の直販、間伐材製品の購入	過去の訪問地、メディア	
50代	市民農園	家族・夫婦	自然とふれあい・子どもの作業・生活体験	家族や友人の口コミ・農山村の知人紹介、過去の訪問地	農作物の直販、間伐材製品の購入	過去の訪問地、メディア	
60代	市民農園、森林・農地のオーナー制度	1人または夫婦	地元との交流、森林・農地保全	家族や友人紹介、農山村の知人紹介、行政の広報誌やHP	農作物の直販、ふるさと宅配やオーナー制による農作物の購入	過去の訪問地、家族や友人の紹介	参加方法が分からない

1 都市住民と国土管理(ターゲット別の特性)

○ 年代別・性別特性(今後の参加意向)

30～50代男性および30代女性の参加意欲が高い。
20代男性や60代男性では参加意欲が相対的に低い。
40～50代女性は「わからない」が約4割が多い。



■ (今後とも)是非やってみたい ■ (今後とも)やってみたい
■ わからない ■ あまりやりたくない
■ 全くやりたくない

20代が他の世代に比べて森林への募金や寄付に対する意欲が高い。30～50代は、特に、農作業体験や農作物の直販等への参加意欲が高い。

また、50代では、市民農園や耕作放棄地復元、宅配等による農作物購入等の意欲が相対的に高い。60代は、市民農園の他、他の年代層に比べてオーナー制やトラスト制度に対する関心が高い。

年代	参加してみたい直接的活動	参加してみたい間接的活動
20代	農作業体験 (34%)	農作物の直販 (43%)、森林への募金・寄付 (36%) ※特になし (19%)
30代～50代	農作業体験 (30代:44%) 市民農園 (50代:37%) 森林オーナー (40代:25%) 耕作放棄地復元 (50代:22%)	農作物の直販 (30代:70%、50代:67%) 間伐材製品の購入 (40代:45%) 宅配やオーナー制による農作物購入 (50代:49%)
60代～	市民農園 (40%)、森林オーナー (24%)	農作物の直販 (70%)、宅配やオーナー制による農作物購入 (48%)、農地トラスト (15%)
性別	男性：林業体験 (27%)、森林オーナー制度 (25%) や農地オーナー制度 (15%) など会費を払い活動へ参加 (その他は男女ほぼ同程度)。	女性：農作物の直販 (70%)、宅配やオーナー制による農作物購入 (46%) などを中心に総じて積極的 男性：分収育林制度 (11%) など

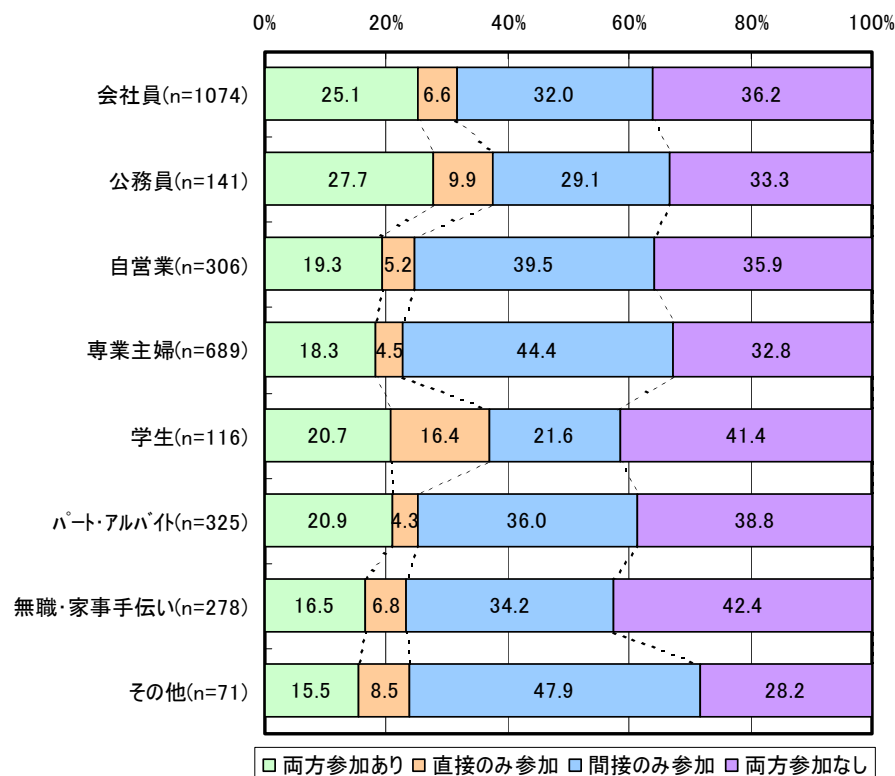
注) %は各年代全体に占める割合(複数回答)

1 都市住民と国土管理(ターゲット別の特性)

○ 職業別特性(参加経験)

公務員、会社員は、直接・間接的活動両方の参加が多い。
無職・家事手伝い、学生は、両方とも参加したことがない割合が4割強。

直接的活動は公務員、学生が多く、学生は直接的活動のみの参加が2割弱と多い。



<職業別にみた国土の国民的経営への参加傾向>

	参加活動	参加きっかけ
直接的活動	◎学生・公務員・会社員の参加率が高い 学生：農作業体験 公務員：農作業体験・林業体験・市民農園	学生：家族の紹介や学校の取組 公務員：家族や友人の紹介、行政の広報
間接的活動	×学生の参加率が低い 専業主婦：農作物の直販 公務員や学生：森林への募金・寄付	会社員、専業主婦、無職・家事手伝い： 過去の訪問地、家族の紹介 公務員：過去の訪問地、メディア 学生：特に理由なし。

○ 職業別特性(参加しない理由)

	活動しない理由
会社員・公務員・自営業	時間的余裕がない
学生	一緒に参加する人がいない、特に興味がない
専業主婦	一緒に参加する人がいない、活動を知らなかった

1 都市住民と国土管理(ターゲット別の特性)

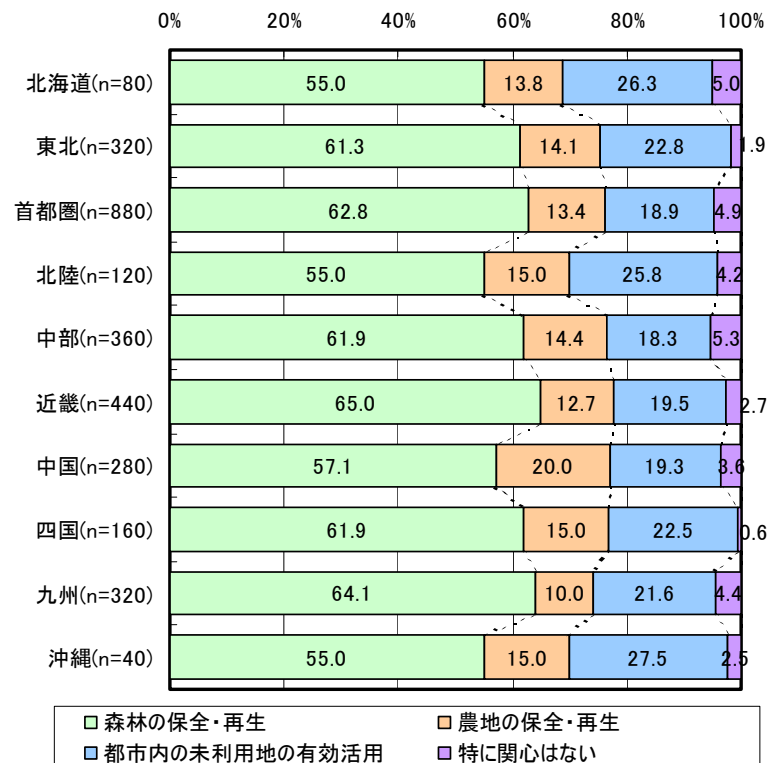
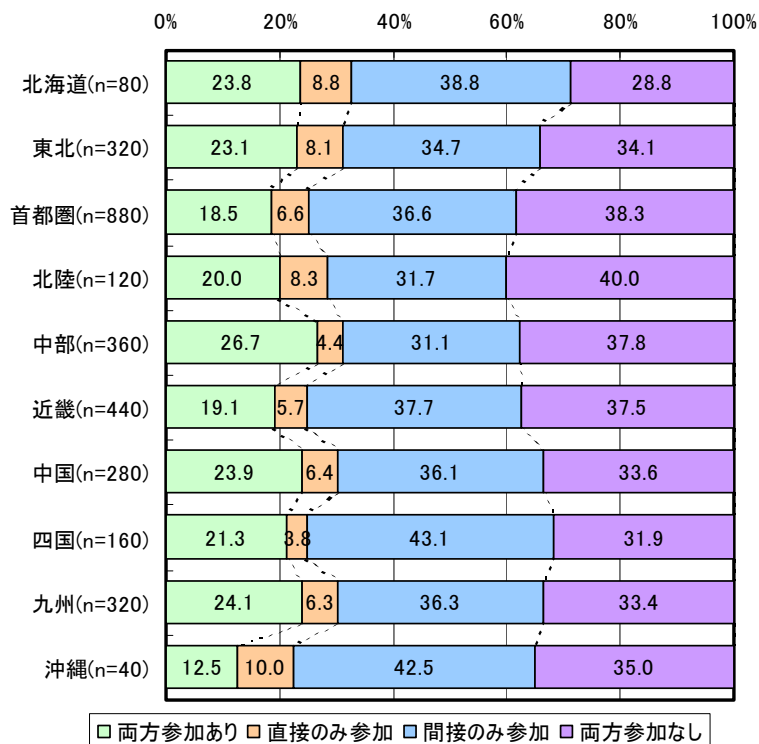
○ 地域別特性(参加経験)

中部、北海道、九州、中国地方等で直接的活動の参加が3割以上。首都圏や近畿等の大都市圏、四国、沖縄では直接的活動への参加が少ない。

直接・間接的活動の未経験者は、首都圏や北陸、中部、近畿でやや多く、北海道や四国、東北でやや少ない。

○ 地域別特性(土地利用をめぐる問題への関心)

近畿や首都圏、九州で森林に関する問題意識が比較的高く、中国では農地に関する問題意識がやや高い。



1 都市住民と国土管理(ターゲット別の特性)

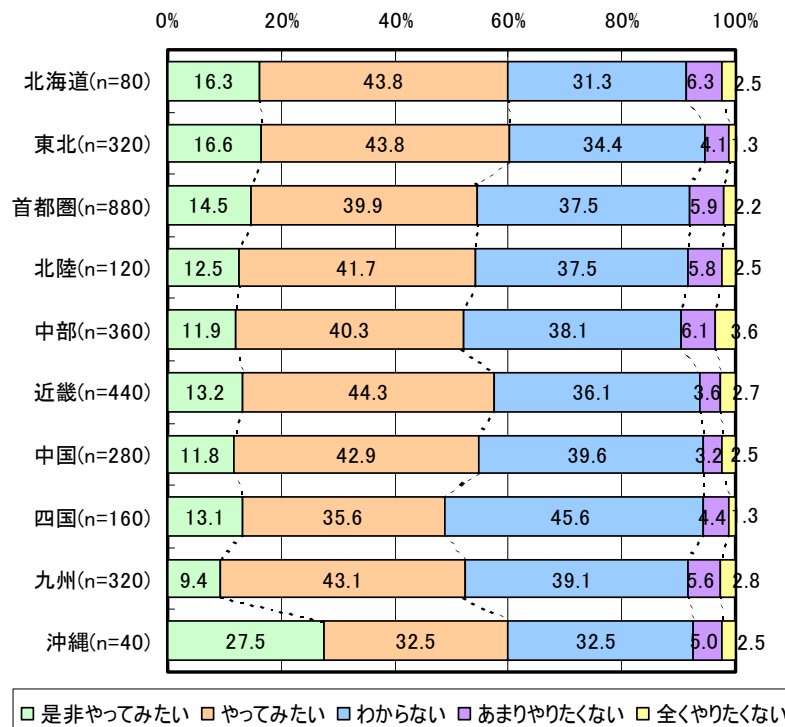
○ 地域別特性(今後の参加意向)

100万人以上の大都市では市民農園や農作物等の購入が比較的多い。一方、30万人未満では農作業体験、農作業・援農ボランティアが比較的多い。
直接的活動(市民農園を除く)の移動時間は大都市ほど長く、宿泊を伴う割合が高まる。

	参加経験	参加意向
直接的活動	【参加内容】 ・100万人以上では市民農園、ふるさと宅配便やオーナー制による農作物等の購入が比較的多い。一方、30万人未満では農作業体験、農作業ボランティアが比較的多い。 ・北海道は比較的高い参加率が高く、農作業ボランティアが多い。東北や中国では農作業体験が多い。首都圏や中部圏では市民農園が多い。沖縄は参加が比較的小さい。 【参加形態】 ・移動時間は大都市の方が長く、人口規模が小さくなるにつれ短くなる。 ・首都圏と四国地方では宿泊を伴う割合が高い。	【参加内容】 ・地域間で大きな差はみられない。 ・大都市では市民農園が多い。 【参加形態】 ・沖縄、首都圏や近畿圏では比較的移动時間が長い。 ・日帰り中心の市民農園を除いて、人口規模が大きくなるほど日帰りが減り、宿泊が増える傾向がある。
間接的活動	【参加内容】 ・地域間で大きな差はみられない。 ・100万人以上の大都市においてふるさと宅配がやや多い。 ・中国・四国地方では森林への募金や寄付加が若干多い。	【参加内容】 ・大都市ではふるさと宅配、農作物の直販購入、農地トラストが多い。 ・北海道では農地保全への募金や寄付、首都圏および近畿圏ではふるさと宅配などが比較的多い。

○ 地域別特性(参加経験・今後の参加意向の内容)

地域別に今後の参加意向をみると、沖縄で比較的高い参加意向が高く、次いで、北海道、東北で比較的高い。
また、首都圏や近畿でも13~15%の人が積極的な参加意向を持っており、人口規模を考慮すると、参加者の裾野拡大が見込まれるターゲット地域であることが伺える。



2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

○ インターネットモニター調査結果に基づく国土管理参画の広がり推計の考え方

試算の試み

インターネットモニターを対象としたアンケート調査結果を利用して、国土管理に参画する人材規模の算定を試みる。



広がりの輪郭

インターネット調査の特性を踏まえ、複数の算定シナリオを設定した上で、人材規模の輪郭(概ねのライン)を算定する。シナリオは以下の3つである。

- シナリオ1:人口10万人以上の都市住民のうち、インターネット利用者に限定した場合
- シナリオ2:無作為郵送方法による類似調査の結果との比較による補正を行った場合
- シナリオ3:本調査における参加意向率をそのまま、都市住民の参加意向率と想定した場合

○ インターネットモニター調査を利用した推計の留意点

近年、活用が広がっている、インターネットモニター調査については、無作為抽出法による郵送調査や面接調査等従来の調査方法と異なり、標本の代表性が担保できないこと、回答者と無回答者の間のバイアス特性の発生などの留意点が指摘されている。

2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

推計結果

○ 3つのシナリオによる推計結果

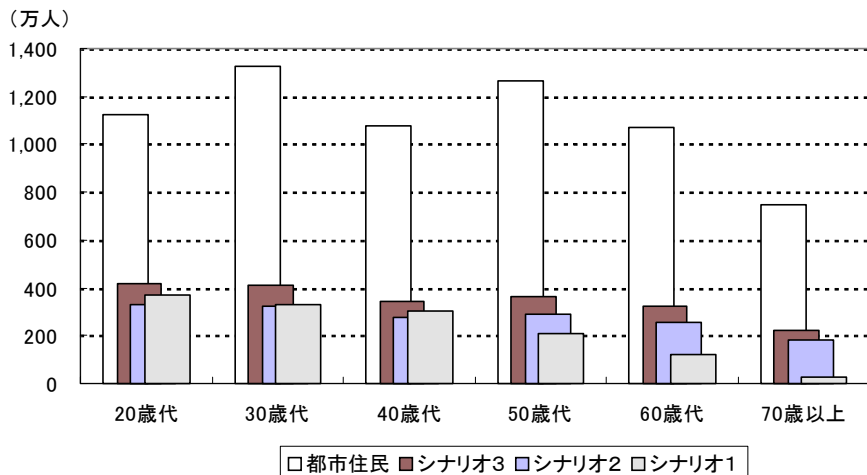
直接的活動の参加希望者数は、2,900万人～3,800万人～4,800万人程度の広がりを持つ。また、新規参加者の規模は、およそ2,200万人～2,800万人～3,600万人。

間接的活動の参加希望者数は、3,400万人～4,100万人～5,600万人程度の広がりを持つ。また、新規参加者の規模は、1,300万人～1,700万人～2,100万人。

【直接的活動の参加希望者数の推計値】

直接的活動の 参加希望	年齢階層 別人口	シナリオ1			シナリオ2			シナリオ3		
		参加意向有り		新規参加希望	参加意向有り		新規参加希望	参加意向有り		新規参加希望
		参加意向有り	継続参加希望		参加意向有り	継続参加希望		参加意向有り	継続参加希望	
合計	6,605	2,910	2,180	730	3,849	2,884	965	4,828	3,617	1,210
20歳代	1,122	675	526	149	600	468	132	753	587	166
30歳代	1,329	898	665	233	891	660	231	1,118	828	290
40歳代	1,078	695	517	177	621	462	159	780	580	199
50歳代	1,262	524	379	144	722	523	199	906	656	250
60歳代	1,069	279	212	66	596	454	142	748	570	178
70歳以上	745	70	53	16	415	316	98	521	397	124

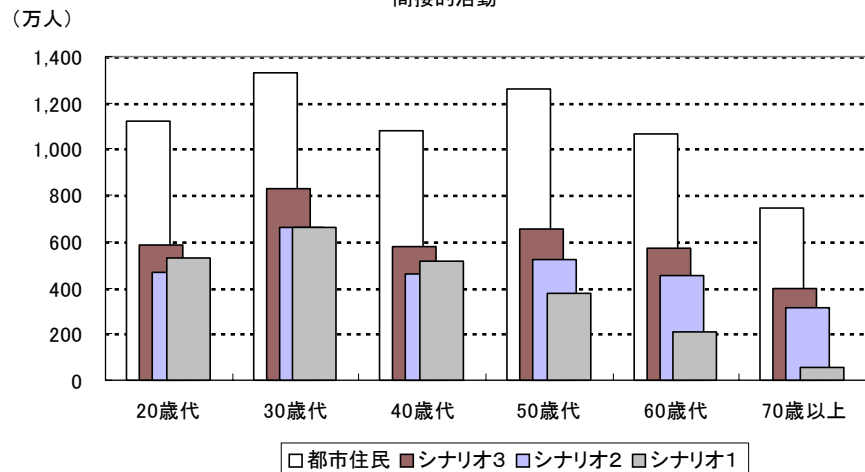
直接的活動



【間接的活動の参加希望者数の推計値】

間接的活動の 参加希望	年齢階層 別人口	シナリオ1			シナリオ2			シナリオ3		
		参加意向有り		新規参加希望	参加意向有り		新規参加希望	参加意向有り		新規参加希望
		参加意向有り	継続参加希望		参加意向有り	継続参加希望		参加意向有り	継続参加希望	
合計	6,605	3,370	1,266	2,103	4,456	1,674	2,782	5,590	2,100	3,489
20歳代	1,122	747	372	375	665	331	334	834	415	418
30歳代	1,329	952	329	623	944	326	618	1,185	409	775
40歳代	1,078	842	305	536	753	273	480	945	343	602
50歳代	1,262	639	211	428	882	291	590	1,106	366	740
60歳代	1,069	336	121	215	718	258	460	901	324	577
70歳以上	745	84	30	54	500	180	320	627	225	402

間接的活動



2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

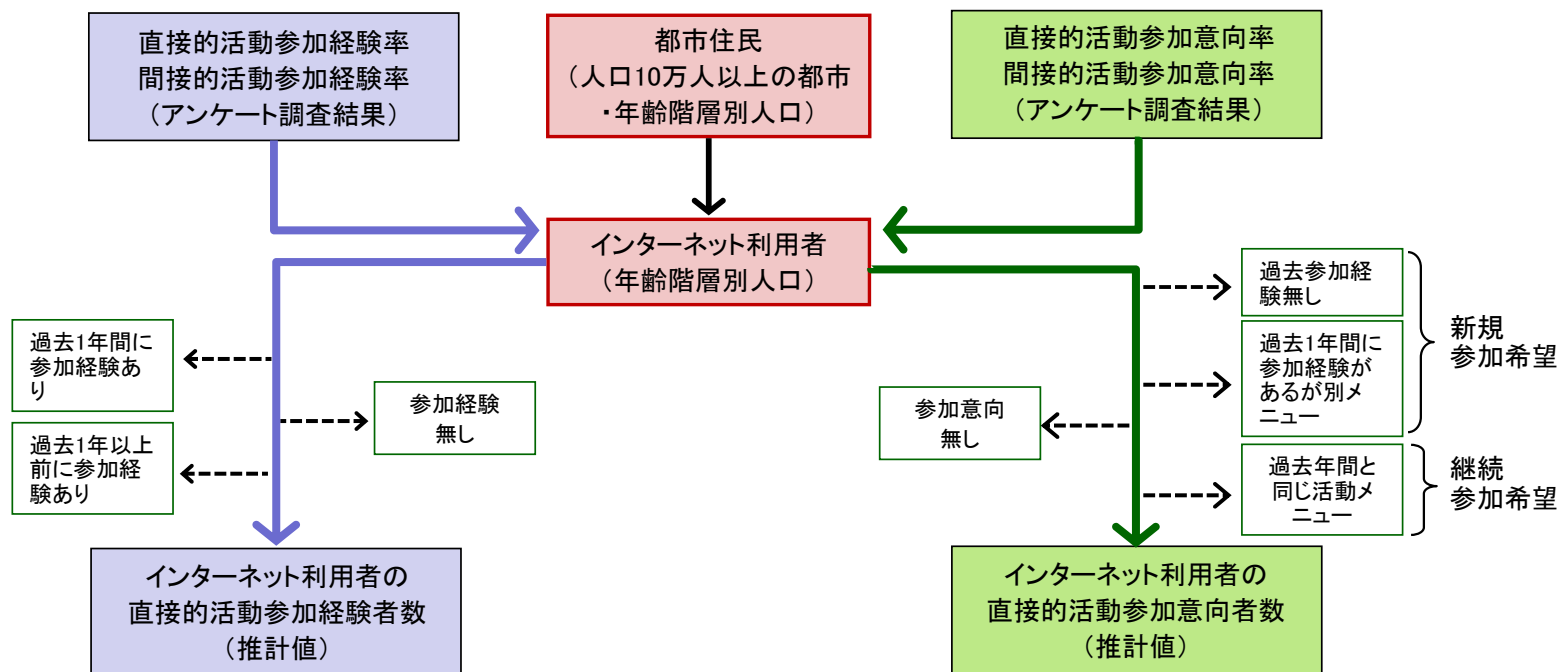
シナリオ1：流れ

○ シナリオ1：

人口10万人以上の都市住民のうち、インターネット利用者に限定した場合の直接的参加経験者数・参加意向者数

本調査によって得られた直接的活動への参加経験率及び参加意向率を、人口10万人以上の都市の年齢階層別インターネット利用者数に乗じて、直接的活動・間接的活動の参加経験者数及び参加意向者数を推計する。

方法：例えば、20代経験者：1,006(20代のインターネット利用者)×27.67%(20代の参加経験率)=277万人 など世代ごとの積み上げにより算出



注：「直接的活動参加経験」は、林業体験、農作業体験、農作業ボランティア・援農ボランティア、市民農園の利用、森林オーナー制度・市民森林、農地のオーナー制度、耕作放棄された農地の再生・復元のいずれかに「過去1年間に1回以上参加したことがある」と回答した者

注：間接的活動参加経験は、「植林活動など森林保全への募金や寄付、安全な作物の栽培など農地保全への募金や寄付、国産材を利用した製品等の購入、間伐材を利用した製品の購入、農作物の直販購入、ふるさと宅配便やオーナー制度による農作物等の購入、分収育林制度、農地トラストなど、いずれかに「過去1年間に(1円以上の)支払い経験がある」と回答した者

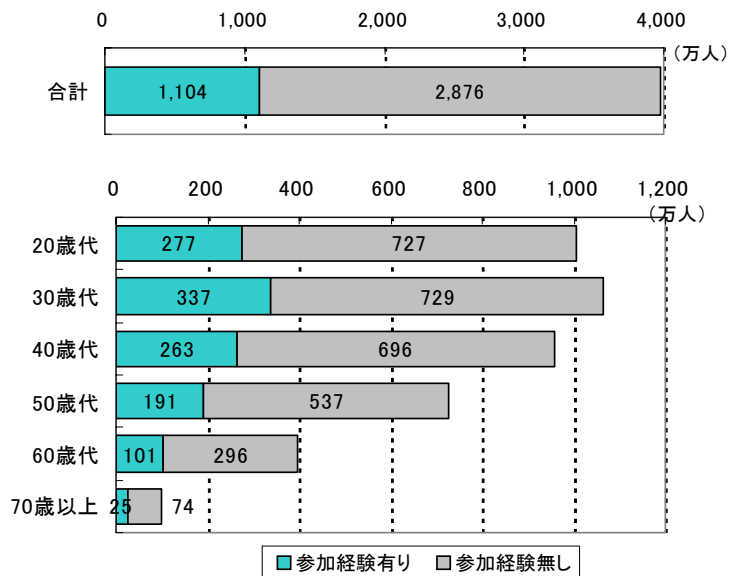
2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

シナリオ1：推計値（直接的活動）

○ 直接的活動の参加経験者数の推計値

都市住民（インターネット利用者）の直接的活動の参加経験者数は1,104万人、参加経験の無い者は2,876万人と推定される。

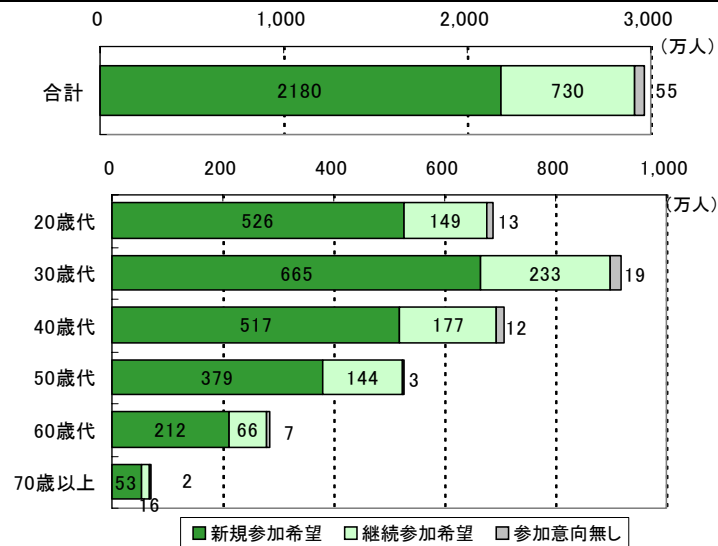
	年齢階層別人口		参加経験有り			参加経験無し
		インターネット利用者	過去1年間に参加経験有り	過去1年以上前に参加		
合計	6,605	3,982	1,104	785	319	2,876
20歳代	1,122	1,006	277	162	115	727
30歳代	1,329	1,068	337	252	85	729
40歳代	1,078	961	263	190	73	696
50歳代	1,262	730	191	148	43	537
60歳代	1,069	399	101	74	27	296
70歳以上	745	100	25	18	7	74



○ 直接的活動の参加希望者数の推計値

都市住民（インターネット利用者）の直接的活動の参加意向者数は2,910万人、新規参加希望者数は2,180万人、過去に経験した活動に参加を希望する継続参加希望者は730万人と推定される。

	年齢階層別人口		参加意向有り				参加意向無し
		インターネット利用者	新規参加希望	過去1年間に参加経験があるが、別メニューに参加希望	過去1年間に参加経験が無いが、別メニューに参加希望	継続参加希望	
合計	6,605	3,982	2,910	2,180	2,125	55	730
20歳代	1,122	1,006	675	526	513	13	149
30歳代	1,329	1,068	898	665	646	19	233
40歳代	1,078	961	695	517	504	12	177
50歳代	1,262	730	524	379	375	3	144
60歳代	1,069	399	279	212	204	7	66
70歳以上	745	100	70	53	51	2	16

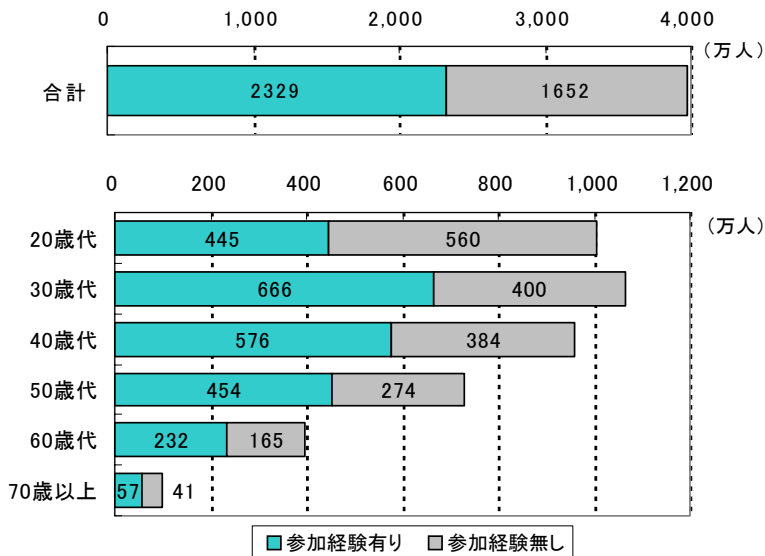


2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

○ 間接的活動の参加経験者数の推計値

都市住民(インターネット利用者)の間接的活動の参加経験者数は2,329万人、参加経験の無い者は1,652万人と推定される。

	年齢階層別人口	インターネット利用者	参加経験有り			参加経験無し
				過去1年間に参加経験有り	過去1年以上前に参加	
合計	6,605	3,982	2,329	2,263	66	1,652
20歳代	1,122	1,006	445	400	45	560
30歳代	1,329	1,068	666	640	26	400
40歳代	1,078	961	576	549	27	384
50歳代	1,262	730	454	439	15	274
60歳代	1,069	399	232	226	6	165
70歳以上	745	100	57	56	1	41

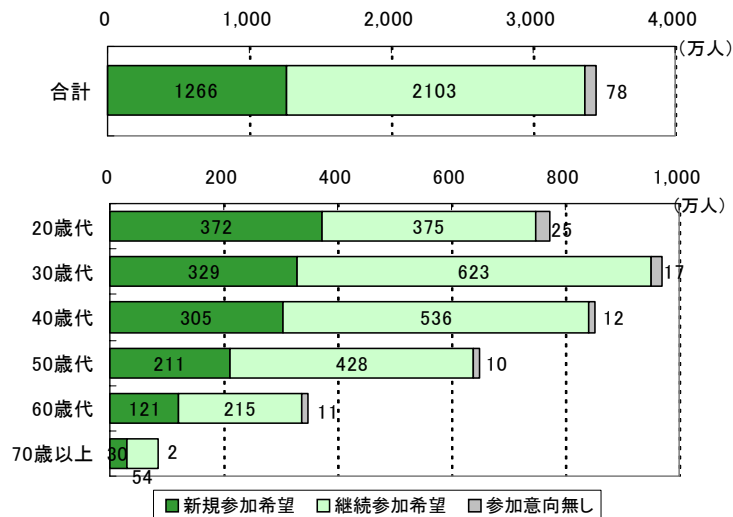


シナリオ1：推計値（間接的活動）

○ 間接的活動の参加希望者数の推計値

都市住民(インターネット利用者)の間接的活動の参加希望者数は3,370万人、新規参加希望者数は1,266万人、過去に経験した活動に参加を希望する継続参加希望者は2,100万人と推定される。

	年齢階層 別人口	インターネット 利用者	参加意向有り				継続参加 希望	参加意 向無し
			新規参加希望	過去に参加経験が無い		過去1年間に 参加経験がある が、別メニュー に参加希望		
合計	6,605	3,982		3,370	1,266		1,187	78
20歳代	1,122	1,006	747	372	347	25	375	258
30歳代	1,329	1,068	952	329	311	17	623	115
40歳代	1,078	961	842	305	293	12	536	118
50歳代	1,262	730	639	211	200	10	428	90
60歳代	1,069	399	336	121	109	11	215	62
70歳以上	745	100	84	30	27	2	54	15



2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

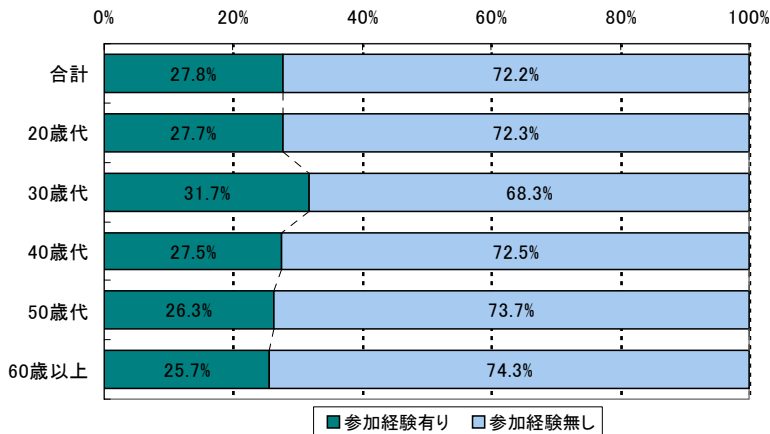
シナリオ1：データ

○ インターネットモニター調査における直接的活動の参加経験

直接的活動の参加経験率は、全体で27.8%

- ・過去1年間の直接的活動への参加経験があると回答した者 ⇒19.73%
- ・過去1年以上前に参加経験のある者 ⇒8.03%
- ・参加経験のない者 ⇒72.23%

	参加経験有り			参加経験無し
		過去1年間に参加経験有り	過去1年以上前に参加	
合計	27.77%	19.73%	8.03%	72.23%
20歳代	27.67%	16.17%	11.50%	72.33%
30歳代	31.67%	23.67%	8.00%	68.33%
40歳代	27.50%	19.83%	7.67%	72.50%
50歳代	26.33%	20.33%	6.00%	73.67%
60歳以上	25.67%	18.67%	7.00%	74.33%



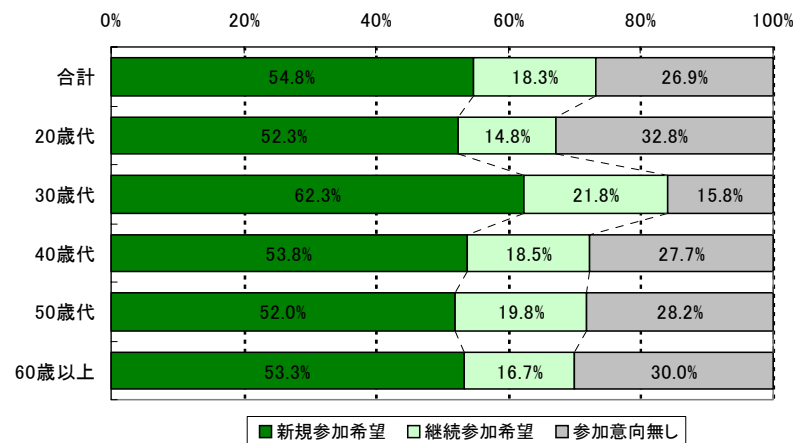
資料：国土交通省「国土の国民的経営に関するアンケート調査結果」（平成19年2月）以下調査結果については全て同調査結果を利用

○ インターネットモニター調査における直接的活動の参加希望

直接的活動の参加意向率は、全体で73.1%

- ・新規参加希望（過去参加経験がない、過去別メニューには参加経験あり）⇒54.77%
- ・継続参加希望（過去1年間と同じ活動に参加希望）⇒18.33%

	参加意向有り				参加意向無し
		新規参加希望	過去1年間に参加経験がないが、別メニューに参加希望	過去1年間に参加経験があるが、別メニューに参加希望	
合計	73.10%	54.77%	53.37%	1.40%	26.90%
20歳代	67.17%	52.33%	51.00%	1.33%	32.83%
30歳代	84.17%	62.33%	60.50%	1.83%	15.83%
40歳代	72.33%	53.83%	52.50%	1.33%	27.67%
50歳代	71.83%	52.00%	51.50%	0.50%	28.17%
60歳以上	70.00%	53.33%	51.33%	2.00%	30.00%



2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

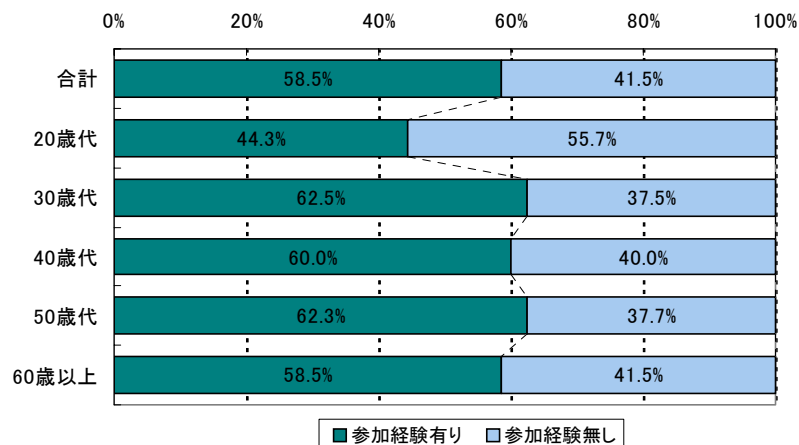
シナリオ1：データ

○ インターネットモニター調査における間接的活動の参加希望

間接的活動の参加経験率は、全体で58.50%

- ・過去1年間の間接的活動への参加経験がある者 ⇒56.83%
- ・過去1年以上前に参加経験のある者 ⇒1.67%
- ・参加経験のない者 ⇒41.50%

	参加経験有り			参加経験無し
		過去1年間に参加経験有り	過去1年以上前に参加	
合計	58.50%	56.83%	1.67%	41.50%
20歳代	44.33%	39.83%	4.50%	55.67%
30歳代	62.50%	60.00%	2.50%	37.50%
40歳代	60.00%	57.17%	2.83%	40.00%
50歳代	62.33%	60.17%	2.17%	37.67%
60歳以上	58.50%	56.83%	1.67%	41.50%

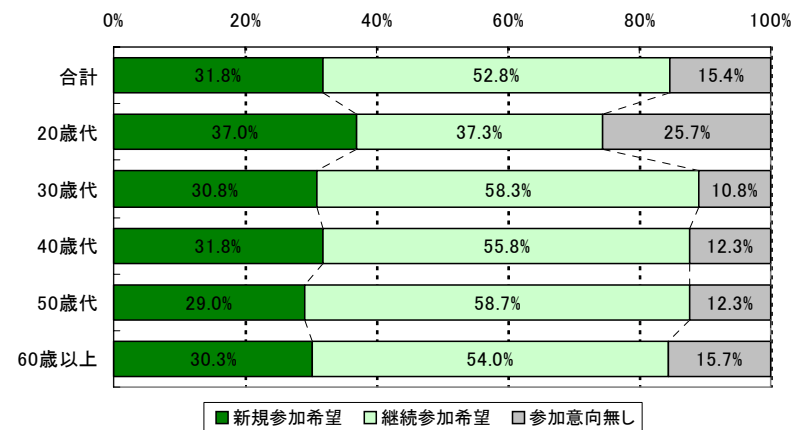


○ インターネットモニター調査における間接的活動の参加希望

間接的活動への参加意向率は、全体で84.63%

- ・新規参加希望(過去参加経験がない、過去別メニューには参加経験あり) ⇒31.80%
- ・継続参加希望(過去1年間と同じ活動に参加希望) ⇒52.83%

	参加意向有り	新規参加希望			継続参加希望	参加意向無し
		過去に参加経験が無い	過去1年間に参加経験があるが、別メニューに参加希望			
合計	84.63%	31.80%	29.83%	1.97%	52.83%	15.37%
20歳代	74.33%	37.00%	34.50%	2.50%	37.33%	25.67%
30歳代	89.17%	30.83%	29.17%	1.67%	58.33%	10.83%
40歳代	87.67%	31.83%	30.50%	1.33%	55.83%	12.33%
50歳代	87.67%	29.00%	27.50%	1.50%	58.67%	12.33%
60歳以上	84.33%	30.33%	27.50%	2.83%	54.00%	15.67%



2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

シナリオ2：推計値

○ シナリオ2：

無作為郵送方法による類似調査の結果との比較による補正を行った場合の直接的・間接的活動参加希望者数

直接的活動の参加希望者数は3,849万人、間接的活動の参加希望者数は4,459万人と推定される。

内閣府「森林と生活に関する調査」(2007年5月)における
「森林の手入れをする体験等」への希望
⇒居住者の参加希望率 15.6%
(人口10万人程度の都市居住者)

※全国20歳以上、標本数3,000人、
無作為抽出、個別面接方式。有効
回答数1,827人

本調査における「林業体験」の参加希望
⇒調査対象者の19.5%

世論調査結果に対して本調査が上振れの傾向があると想定
補正係数=0.797

【直接的活動の参加希望者数の推計値】

	年齢階層 別人口	参加意向有り					参加意向 無し
		新規参加希望	過去1年間に 参加経験があるが、別メニュー に参加希望		継続参加 希望		
			過去に参加経 験が無い				
合計	6,605	3,849	2,884	2,810	73	965	1,416
20歳代	1,122	600	468	456	11	132	293
30歳代	1,329	891	660	641	19	231	167
40歳代	1,078	621	462	451	11	159	237
50歳代	1,262	722	523	518	5	199	283
60歳代	1,069	596	454	437	17	142	255
70歳以上	745	415	316	304	11	98	178

【間接的活動の参加希望者数の推計値】

	年齢階層 別人口	参加意向有り					参加意向 無し
		新規参加希望	過去1年間に 参加経験があるが、別メニュー に参加希望		継続参加 希望		
			過去に参加経 験が無い	過去1年間に 参加経験がある が、別メニュー に参加希望			
合計	6,605	4,456	1,674	1,571	103	2,782	809
20歳代	1,122	665	331	308	22	334	229
30歳代	1,329	944	326	309	17	618	114
40歳代	1,078	753	273	262	11	480	106
50歳代	1,262	882	291	276	15	590	124
60歳代	1,069	718	258	234	24	460	133
70歳以上	745	500	180	163	16	320	92

方法:例えば、20代直接活動希望者: 1,122(20代人口)×.67.17%(20代の参加希望率)×0.797=600万人 など世代ごとの積み上げにより算出

2 都市住民の国土管理活動への参加の広がり推計

シナリオ3：推計値

○ シナリオ3：

本調査における参加意向率を都市住民の参加意向率と想定した場合の直接的・間接的活動参加希望者数

直接的活動の参加希望者数は3,617万人、間接的活動の参加希望者数は5,590万人と推定される。

本調査における直接的活動・間接的活動への参加希望
⇒年齢階層別の参加希望率

人口10万人以上の都市の年齢階層別人口

本調査における年齢階層別参加希望率は
人口10万人以上の都市の年齢階層に共通と想定

【直接的活動の参加希望者数の推計値】

	年齢階層 別人口	参加意向有り					参加意向 無し
			新規参加希望			継続参加 希望	
			過去に参加経 験が無い	過去1年間に 参加経験がある が、別メニュー に参加希望			
合計	6,605	4,828	3,617	3,525	92	1,210	1,776
20歳代	1,122	753	587	572	14	166	368
30歳代	1,329	1,118	828	804	24	290	210
40歳代	1,078	780	580	566	14	199	298
50歳代	1,262	906	656	650	6	250	355
60歳代	1,069	748	570	548	21	178	320
70歳以上	745	521	397	382	14	124	223

【間接的活動の参加希望者数の推計値】

	年齢階層 別人口	参加意向有り					参加意向 無し
		新規参加希望	過去1年間に 参加経験があるが、別メニュー に参加希望		継続参加 希望		
			過去に参加経 験が無い	過去1年間に 参加経験がある が、別メニュー に参加希望			
合計	6,605	5,590	2,100	1,970	129	3,489	1,015
20歳代	1,122	834	415	387	28	418	288
30歳代	1,329	1,185	409	387	22	775	143
40歳代	1,078	945	343	328	14	602	133
50歳代	1,262	1,106	366	347	18	740	155
60歳代	1,069	901	324	293	30	577	167
70歳以上	745	627	225	204	21	402	116

方法：例えば、20代直接活動希望者：1,122(20代人口)×.67.17%(20代の参加希望率)=753万人 など世代ごとの積み上げにより算出